表 22(1) 漂着場の特性 (熊本県上天草市龍ヶ岳町 樋島海岸)

田本		5十月 6 丁共士的			∽件中 10	00°05′10″E 00°	° 00´ 40″N	7							
調査対象地域:⑥-1熊本県上天草市龍ヶ岳町樋島海岸 経緯度:130°25´12´E 33°22´46´N 概況調査範囲を含む当該県情報:熊本県					モデル地域を含む当該市町情報: 上天草市										
	N- X		【熊本県庁】 ○所在地:熊本市水前寺6丁目18-1〒862-8570 ○経緯度:130°44′30″E 32°47′24″N ○連絡先:096-383-1111(代表)					•			【上天草市役所】 ○所在地:上天草 ○経緯度:130°2 ○連絡先:0964-	5´49´E 32°35´1	14番地 〒869-369 5 [^] N	92	
	調査対象地域	熊本県		○総 面 積:7,4 ○人 口:1,8 ○人口密度:248 ○平均気温:16. ○年降水量:1,9 ○海岸延長:1,0 ○一級河川:8水	42,233 人(男 86 .8 人/km² ○ 5℃ ○ 92.7mm ○ 66.20km(自然海	2 完地面積:35,5626,916 女975,317) 世 帯 数:667,530 平均湿度:72% 平均湿速:2.3m/s 岸 417.42km) 二級河川:81 水系) 33 世帯 s		Str. G	上天草市		○総 面 積:126 ○人 口:32, ○人口密度:257 ○平均気温:16. ○年降水量:1,9 ○海岸延長:219 ○一級河川: ○ごみ排出量:8	502 人(男 14, 98 . 8 人/km² ○ 2℃ ○ 86. 9mm ○ . 6km(自然海岸	世 帯 数:11,432 † 平均湿度:- 平均風速:1.4m/s	世帯
	流 況 【130˚E-32˚N】	平均流速量大流速	(ノット) (ノット) (度)	1月 0.3 0.9 198	4月 0.3 1.2 7	7月 0.0 0.4 0	10 月 0. 6 1. 0 116		流 況 【同 左】	平均流速 表 大流速 平均流 向	(ノット) (ノット) (度)				
漂着の	潮位差 【三 角】 TP406.9cm	月平均潮位月最高潮位月最低潮位	(cm) (cm) (cm)	1月 413.8 613 172	4月 422.1 613 200	7月 443.0 617 219	10 月 442. 6 648 213	漂着の	潮位差【同 左】	月平均潮位月最高潮位月最低潮位	(cm) (cm) (cm)				
メカニズムに	波 浪 【 - 】	最大有義波高 平均有義波高 最高波高	(m) (m) (m)	1月	4 月	7 月	10月	メカニズムに	波 浪 【 - 】	最大有義波高 平均有義波高 最 高 波 高	(m) (m) (m)	1月	4 月	7月	10月
に関する条件	風 況 【熊 本】	平均風速 最多風向 最大風速風向	(m/s) (-) (m/s·-)	1月 2.3 NW 14.3·WNW	4月 2.8 NNW 14.3•E	7月 2.4 SW 18.5·S	10 月 2.2 NNW 16.5•NNW	に関する条件	風 況 【松 島】	平均風速最多風向最大風速風向	(m/s) (-) (m/s·-)	1月 1.5 — 8·SSW	4月 1.5 — 10·S	7月 1.4 一 9·SSW	10月 1.4 — 10·NNE
	海岸地形【熊本県】	自然海岸半自然海岸人工海岸	(km) (km) (km)	135.21(泥浜 1 507.78(埋立 15	0.69 砂質 40.99	号 岩石 97.48 他22 日岩石 32.44 他 5 日 他 247.50)	•		海岸地形 【龍ヶ岳町】	自然海岸半自然海岸人工海岸	(km) (km)	16.15 (埋立 8.10	0 砂質 0.38 岩石	0.12 他 3.67)	
	代表河川 【球磨川】	幹川流路延長流 域 面 積流 量	(km) (km^2) (m^3/s)	115 1,880(流域内人 豊水 109.60 平2		3. 83			代表河川 【岩下川】	幹川流路延長流 域 面 積流 量	(km) (km²) (m³/s)	1. 80 2. 95			
海	自然的価値	藻場干潟等分布 自然的価値 貴重な生物分布 自然公園等分布			情報図 1 - 1 " 1 - 2 " 1 - 3				海岸利用	護岸・構造物・浴 港湾・漁港 産業施設等	**・漁港 情報図3-1				
岸の価値	歴史・文化的価値	史跡・名勝・天然記念物		社会条件	河川利用	一級河川・二級 流域人口	可川	情報図3-2							
川	アメニティ	自然との触れ合い 観光資源・行事 海岸レクリエーション	·活動	情報図2-2					地域管理	港湾区域 漁港区域 海岸保全区域		情報図3-3			

表 22(2) 漂着場の特性 (熊本県上天草市龍ヶ岳町 樋島海岸)

調査対象地域:⑥-1熊本県上天草市龍ヶ岳町樋島海岸	経緯度:130°25´12˜E 33°22´46˜N		
204	[撮影日:2007年9月20日~22日] 漂着ゴミの量 → ゴミ袋(20L)換算で8袋以上	海岸の価値 社会条件 雲仙天草国立公園 (天草地域) 普通地域 ① キャデルル 地 地 に で ボルル 地 に かん	
東風留 東風留 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	1 袋以上 8 袋未満 1 袋未満 注:航空写真により、海岸線方向に 10mあたりの漂着ゴミ(20~30cm 以上)の量から推定。		b c d
村 (大い美術場 対土 島) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	現場の首	夕陽の名所:下桶川不動神社	
b Triss	下。 桶 河 河 河 河 (1928	モデル地域 海岸 ア・地域	3 h
0 0.5 1km	調査範囲(5km)	連 連 港湾海岸保全区域: 樋島港 天草広域連合組合:	c
		情報出典:「雲仙天草国立公園区域(天草地域)」(熊本県)、「上天草市おでかけマップ」(上天草市)、 「熊本の漁港」(熊本県漁港協会、平成14年)、「天草地域振興局土木部総合管内図」、 「海岸保全施設の種類、規模、配置及び受益の地域」	

表 23(1) 漂着場の特性 (熊本県天草郡苓北町 富岡海岸)

								7		/4/ +/					
調査	対象地域:⑥-2煎	《本県天草郡苓北町富岡	岡海岸	:	経緯度:13	30°01´22´E 32°3	31´24″N								
概況調査範囲を含む当該県情報: 熊本県						モデル地域を含む当該市町情報: 苓北町									
×-×-	A Market &			【熊本県庁】 ○所在地:熊本市水前寺6丁目18-1〒862-8570 ○経緯度:130°44′30″E 32°47′24″N ○連絡先:096-383-1111(代表)							○ 所○ 経	E緯度:130°03	3苓北町志岐 660 種 3´17´E 32°30´48 35-1111(代表)	昏地 〒863−2503 Ñ	
	調査対象地域 ⑥-2	熊本県	/	○総 面 積:7,40 ○人 口:1,84 ○人口密度:248. ○平均気温:16.5 ○年降水量:1,99 ○海岸延長:1,06 ○一級河川:8 水3 ○ごみ排出量:64	2,233 人(男 86 8 人/km² ℃ 2.7mm 6.20km(自然海	②宅地面積:35,562h 66,916 女 975,317) ①世 帯 数:667,533 ②平均湿度:72% ②平均風速:2.3m/s 译 417.42km) ②二級河川:81 水系	3 世帯			苓北町	○人 ○人 ○平 ○年 ○海	、口密度:133. ^Z 均気温:16.2 E降水量:2,13	27 人(男 4, 169 3 1 人/km ² 〇 2°C 〇 31.6mm 〇 11km(自然海岸 9	世 帯 数:3,105世 平均湿度:- 平均風速:1.7m/s	节
	流 況 【130˚E-32˚N】	平均流速 (19 最大流速 (19 平均流向 (度))	1月 0.3 0.9 198	4月 0.3 1.2 7	7月 0.0 0.4 0	10 月 0. 6 1. 0 116		流 況 【同 左】	平 均 流 速 (ノット) 最 大 流 速 (ノット) 平 均 流 向 (度)					
漂着の	潮位差 【三 角】 TP406.9cm	月平均潮位 (cm) 月最高潮位 (cm) 月最低潮位 (cm))	1月 413.8 613 172	4月 422.1 613 200	7月 443.0 617 219	10 月 442. 6 648 213	漂着の	潮位差 【同 左】	月平均潮位 (cm) 月最高潮位 (cm) 月最低潮位 (cm)					
メカニズム	波 浪 【 - 】	最大有義波高 (m) 平均有義波高 (m) 最 高 波 高 (m))	1月	4月	7 月	10 月	メカニズム	波 浪 【 一 】	最大有義波高 (m) 平均有義波高 (m) 最高波高 (m)		1月	4月	7月	10 月
に関する条件	風 況 【熊 本】	平 均 風 速 (m/s 最 多 風 向 (一) 最大風速風向 (m/s		1月 2.3 NW 14.3·WNW	4月 2.8 NNW 14.3·E	7月 2.4 SW 18.5·S	10 月 2.2 NNW 16.5·NNW	に関する条件	風 況 【本 渡】	平 均 風 速 (m/s 最 多 風 向 (-) 最大風速風向 (m/s		1月 1.3 — 10·S	4月 1.9 一 12·S	7月 1.9 — 16·SSE	10月 1.6 — 11·S
17	海岸地形 【熊本県】	自然海岸 (km) 半自然海岸 (km) 人工海岸 (km))	417.42(泥浜 6.	37 砂質 86.96	5 岩石 97.48 他226. 9 岩石 32.44 他 51.	. 61)		海岸地形 【苓北町】	自然海岸 (km) 半自然海岸 (km) 人工海岸 (km)	10.7	10(泥浜 0.00 77(泥浜 0.00	砂質 2.41 岩石 砂質 1.81 岩石 干拓 0.64 他 8.0	7.62 他1.34)	
	代表河川 【球磨川】	幹川流路延長 (km) 流域面積 (km) 流量 (m³/	2)	115 1,880(流域内人口 豊水 109.60 平水		6. 83			代表河川 【都呂々川】	幹川流路延長 (km) 流域面積 (km²) 流量 (m³/s					
海	自然的価値	藻場干潟等分布 貴重な生物分布 自然公園等分布	i./_					<u></u>	海岸利用	護岸・構造物・海浜 港湾・漁港 産業施設等					
岸の価値	歴史・文化的価値	史跡・名勝・天然記念 自然景観資源 指定文化財	쎈					社会条件	河川利用	一級河川・二級河川 流域人口					
	アメニティ	自然との触れ合い活動 観光資源・行事 海岸レクリエーション							地域管理	港湾区域 漁港区域 海岸保全区域					

調査対象地域:⑥一2熊本県天草郡苓北町富岡海岸	経緯度:130°01´22˝E 32°31´24˝N		
	[撮影日:2007年9月20日~22日] 漂着ゴミの量	海岸の価値 社会条件	8
(a) (b) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	ゴミ袋(20L)換算で8袋以上 1袋以上8袋未満 1袋未満 1袋未満 注:航空写真により、海岸線方向に 10mあたりの漂着ゴミ(20~30cm 以上)の量から推定。	操指定天然記念物:ハマジンチョウ自生地 a 操	c d
調査範囲 (5km) (5km) (1) (8) (3) (4) (5) (6) (8) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9	上版	四季咲岬公園 海中公園展望台 モデル 地域 海岸	
00.51km		快水浴場百選:富岡海水浴場	8
		• 資源化	93t/日
		報出典:「雲仙天草国立公園区域(天草地域)」(熊本県)、「苓北町マップ」(苓北町観光協会)、「熊本の漁港」(熊本県漁港協会、平成14年)、「天草地域振興局土木部総合管内図」、「海岸保全施設の種類、規模、配置及び受益の地域」	

表 24(1) 漂着場の特性 (沖縄県石垣市 吉原海岸〜米原海岸)

調査対	対象地域:⑦一1沖維	工工 電県石垣市吉原海岸〜米原	海岸 経緯度	: 124°10′28″E 24	°26 ⁵⁷ N]								
	概況調査範囲を含む当該県情報:沖縄県						モデル地域を含む当該市町情報: 石垣市							
N			【沖縄県庁】 ○所在地:那覇市泉崎1丁目 ○経緯度:127°40′52″E 26° ○連絡先:098-866-2333(総	12´45˝N			-	3		○経緯度:124°	市美崎町 14 番地 09´07˝E 24˚20´14 -82-9911(代表)			
	調査対象地域 ⑦-1	沖縄県	 ○総 面 積: 2, 274. 59km² ○人 口: 1, 366, 854 人(○人口密度: 601 人/km² ○平均気温: 22. 7℃ ○年降水量: 2, 036. 9mm ○海岸延長: 1, 698. 75km(自 ○一級河川: 一 ○ごみ排出量: 460, 133t/年 	○世 帯 数:498,4 ○平均湿度:75% ○平均風速:5.3m/	8) 111 世帯 ⁄s		石	垣市		○人口密度:19 ○平均気温:24 ○年降水量:2,	,168人(男 22,378 7 人/km² ○ .0°C ○ 061.0mm ○ 5.47km(自然海岸	世 帯 数:18,178 平均湿度:77% 平均風速:4.7m/s	3 世帯	
	流 況 【127°E-26°N】	平均流速 (/ット) 最大流速 (/ット) 平均流向 (度)	1月 4月 0.0 0.1 3.8 1.9 113 231	7月 0.3 2.3 174	10 月 0. 3 1. 9 179		流 況 【124°E-24°N】	平均流速 表大流速 平均流 向	(ノット) (ノット) (度)	1月 0.0 0.9 249	4月 0.2 1.2 79	7月 0.2 1.2 141	10 月 0. 4 1. 8 32	
漂着の	潮位差 【那 覇】 TP258cm	月平均潮位 (cm) 月最高潮位 (cm) 月最低潮位 (cm)	1月 4月 251.7 249.1 359 351 108 130	7月 284.4 390 163	10 月 279. 9 382 154	漂着の	潮位差 【石 垣】 TP170.9cm	月平均潮位月最高潮位月最低潮位	(cm) (cm) (cm)	1月 164.4 259 47	4月 195.1 279 90	7月 197.1 314 89	10 月 194. 1 293 99	
メカニズム	波 浪【那 覇】	最大有義波高 (m) 平均有義波高 (m) 最高波高 (m)	1月 4月 4.19 2.54 1.41 0.77 6.32 3.35	7月 2.84 0.56 4.88	10 月 6. 40 9. 89 1. 73	メカニズム	波 浪【石 垣】	最大有義波高 平均有義波高 最高波高	(m) (m) (m)	1月 1.26 0.36 2.15	4月 1.51 0.25 2.89	7月 0.73 0.22 1.09	10 月 1. 83 0. 48 3. 06	
に関する条件	風 況 【那 覇】	平均風速 (m/s) 最多風向 (-) 最大風速風向 (m/s·-)	1月 4月 5.5 5.1 NNE NNE 21.7·N 21.2·SW	7月 5.2 SE 46.4·NNE	10 月 5. 2 NNE 45. 1 · WNW	に関する条件	風 況【石垣島】	平均風速最多風向最大風速風向	(m/s) (-) (m/s·-)	1月 4.9 NNE 18.6·S	4月 4.4 S 21.3·SSE	7月 4.9 SSW 53.0·SE	10 月 4.7 NNE 39.6·ESE	
	海岸地形【沖縄県】	自然海岸 (km) 半自然海岸 (km) 人工海岸 (km)	1,242.45 (泥浜 4.08 砂質 221.76 (泥浜 1.88 砂質 214.54 (埋立192.74 干拓	186.09 岩石 33.79 亻			海岸地形【石垣市】	自 然 海 岸 半自然海岸 人 工 海 岸	(km) (km) (km)	135.95 (泥浜0.00 砂質 79.53 岩石 56.42 他 0.00) 24.58 (泥浜0.00 砂質 23.82 岩石 0.76 他 0.00) 10.64 (埋立7.91 干拓 0.00 他 2.73)				
	代表河川	幹川流路延長 (km) 流域面積 (km²) 流量 (m³/s)					代表河川	幹川流路延長 流 域 面 積 流 量	(km) (km^2) (m^3/s)					
海	自然的価値	藻場干潟等分布 貴重な生物分布 自然公園等分布					海岸利用	護岸・構造物・浴 港湾・漁港 産業施設等	 再浜					
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	歴史・文化的価値	史跡・名勝・天然記念物 自然景観資源 指定文化財				社会条件	河川利用	一級河川・二級i 流域人口	可川					
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	アメニティ	自然との触れ合い活動 観光資源・行事 海岸レクリエーション					地域管理	港湾区域 漁港区域 海岸保全区域						

46

表 25(1) 漂着場の特性 (沖縄県竹富町 住吉~星砂の浜~上原海岸)

調査対	家地域:⑦一2沖絲		星砂の浜〜上原海岸	経緯度:12	23°46´35˝E 24˚	°26´10″N									
概況調査範囲を含む当該県情報:沖縄県							モデル地域を含む当該市町情報: 竹富町								
₹ - 2 -	N		○所在地:那看 ○経緯度:127	【沖縄県庁】 ○所在地:那覇市泉崎1丁目2-2 〒900-8570 ○経緯度:127°40′52″E 26°12′45″N ○連絡先:098-866-2333 (総合案内)					2.	\$	○経緯度:	市美崎町 11 番地 -82-6191(代表)			
	調査対象地域	沖縄県	○人口密度:6 ○平均気温:2 ○年降水量:2	, 366, 854 人(男 67 601 人/km² (22. 7℃ (2, 036. 9mm (, 698. 75km(自然海	○世 帯 数:498,4 ○平均湿度:75% ○平均風速:5.3m/s) 11 世帯 s		•	竹富町		○人口密度:12 ○平均気温:23 ○年降水量:2,	112 人(男 2, 108 了 人/km² ○ . 6℃ ○ 223. 5mm ○ 9. 78km(自然海岸	世 帯 数:2,127† 平均湿度:- 平均風速:3.8m/s	世帯	
	流 況 【127˚E-26˚N】	平均流速 (/y 最大流速 (/y 平均流向 (度	b) 0.0 3.8	4月 0.1 1.9 231	7月 0.3 2.3 174	10 月 0. 3 1. 9 179		流 況 【124°E-24°N】	平均流速最大流速	(ノット) (ノット) (度)	1月 0.1 1.8 91	4月 0.1 2.9 72	7月 0.2 2.1 81	10 月 0.3 1.5 58	
漂着の	潮位差 【那 覇】 TP258cm	月平均潮位 (cm 月最高潮位 (cm 月最低潮位 (cm	359	4月 249.1 351 130	7月 284.4 390 163	10 月 279. 9 382 154	漂着の	潮位差 【石 垣】 TP170.9cm	月平均潮位月最高潮位月最低潮位	月最高潮位 (cm)	1月 164.4 259 47	4月 195.1 279 90	7月 197.1 314 89	10 月 194. 1 293 99	
メカニズムに	波 浪 【那 覇】	最大有義波高 (m 平均有義波高 (m 最高波高 (m	1.41	4月 2.54 0.77 3.35	7月 2.84 0.56 4.88	10 月 6. 40 9. 89 1. 73	メカニズムに	波 浪【石 垣】	最大有義波高 平均有義波高 最 高 波 高	(m) (m) (m)	1月 1.26 0.36 2.15	4月 1.51 0.25 2.89	7月 0.73 0.22 1.09	10 月 1. 83 0. 48 3. 06	
に関する条件	風 況 【那 覇】	平 均 風 速 (m/ 最 多 風 向 (- 最大風速風向 (m/	0.0	4月 5.1 NNE 21.2·SW	7月 5.2 SE 46.4·NNE	10 月 5. 2 NNE 45. 1·WNW	に関する条件	風 況【大 原】	平均風速最多風向最大風速風向	(m/s) (-) (m/s·-)	1月 4.0 — 12·NE	4月 3.4 — 13·NNE	7月 3.4 — 39·NE	10 月 4. 0 — 34·S	
	海岸地形 【沖縄県】	自然海岸 (km 半自然海岸 (km 人工海岸 (km	221.76 (泥沼	兵 4.08 砂質544.5 兵 1.88 砂質186.0 过192.74 干拓 1.7	09 岩石 33.79 他			海岸地形 【竹富町】	自 然 海 岸 半自然海岸 人 工 海 岸	(km) (km) (km)	14.83(泥浜 0	.00 砂質 102.45 .00 砂質 14.41 .32 干拓 0.00	岩石 0.42 他 0.0		
	代表河川	幹川流路延長 (km 流 域 面 積 (km 流 量 (m³)	2)					代表河川 【浦内川】	幹川流路延長流 域 面 積流	(km) (km^2) (m^3/s)	13. 1 54. 24				
海	自然的価値	薬場干潟等分布 然的価値 貴重な生物分布 自然公園等分布							護岸・構造物・ 港湾・漁港 産業施設等	護岸・構造物・海浜 港湾・漁港					
海岸の価値	歴史・文化的価値	史跡・名勝・天然記念 自然景観資源 指定文化財	物				社会条件	河川利用	一級河川・二級 流域人口	河川					
ഥ	アメニティ	自然との触れ合い活動 観光資源・行事 海岸レクリエーション						地域管理	港湾区域 漁港区域 海岸保全区域						

(3) 航空機調査結果

調査対象海域において航空機から写真撮影を行い、漂着ゴミ(20~30cm 以上)の量を 3 段階 (表 26)で評価した。評価方法としては、農林水産省・水産庁・国土交通省により実施された「海岸における一体的漂着ゴミ対策検討調査」で用いられた手法(図 1)を参考として、海岸線方向に 10m あたりの漂着ゴミの量をゴミ袋(20L)換算で表現した。表 26 に示した 3 段階のゴミ袋の数量に応じた航空写真の例を図 2 に示す。

漂着ゴミとしては発泡スチロールやポリタンクなどの人工系のゴミの他、流木も対象とした。 海藻については独自調査で回収の対象外としていない地域もあるため、航空機調査においても 対象外とした。植生内の漂着ゴミについても撮影されている範囲で評価の対象とした。FRP 製 のボートや和船(木製)については、漂着ゴミかどうかの判定がつかないため対象外とした。

航空写真から判定した漂着ゴミの量を検証するため、共通調査で実際に回収されたゴミの量と航空写真の判定結果を比較した(図 3)。航空写真では20~30cm以上のゴミの量を推定しているが、共通調査(59地点)では、1cm以上の漂着ゴミのすべてを回収し、その容量を計測している。そこで、両者を比較するにあたり、共通調査で回収されたゴミの中から単体もしくは固まり(木切れなど)で容量が20L以上のゴミの総容量を集計し、航空写真によるゴミ量の推定結果と比較した。一つの調査地点で汀線から陸方向に複数の調査枠を設置している場合には、それらを合計して海岸線10m当たりのゴミの容量を算出した。航空写真の撮影時期(2007年8~10月)と共通調査によるゴミの回収の時期(2007年9~10月)の時間差は最大約1.5ヶ月である。

航空写真による判定結果と実際に回収されたゴミの量を比較した結果、1袋以上8袋未満及び8袋以上と判定された場合には、概ね実際に回収されたゴミの容量と一致した。共通調査は漂着ゴミの著しい地点で実施されているため、そのような地点での大量かつ大型のゴミは航空写真からもよく識別できていると考えられる。一方、1袋未満と判定された地点においては、実際に回収されたゴミの量と相関がとれていない地点が多くみられた。航空写真ではゴミがほとんど識別出来ないにも係わらず実際にはゴミが回収されていることから、航空写真の撮影後に漂着したゴミの影響が大きいと推測される。これらの結果から、航空写真を用いたゴミ量の推定は、特に大型のゴミが大量に漂着している場合において有効であると考えられる。

調査対象の7県の評価結果(速報版)を図 4~図 10に示す。図 4~図 10には評価結果を考察する一助として、海岸線の地形情報(浜が発達していない海岸及び人工海岸、ともにゴミが漂着しにくい)を付加した。これらの地形データは第5回海岸線調査(環境省、平成5~10年度)を参照した。

本調査により、陸側から見通しが効かない浜やアクセスが困難な浜についても漂着ゴミの状況を連続的に把握することができた。これらのデータと海岸線付近の自然環境、社会環境のデータを重ね合わせることにより、漂着ゴミの回収活動を優先順位の設定などが可能になると考える。

ただし、航空機による写真撮影が9月~10月にかけて行われたため、海水浴シーズン前の海岸清掃活動等によって漂着ゴミの回収が行われていることも加味する必要がある。また、本調査で評価の対象となっているゴミはその大きさが20~30cm以上のものであり、実際にはそれ以下のゴミも数多く存在する。そのため、本調査では把握できない小さな漂着ゴミの状況に

ついて、前述の農林水産省・水産庁・国土交通省の調査結果等を参照することで、より詳細に漂着ゴミの全体像を把握することができると考えられる。

表 26 漂着ゴミ(かさ容量)の推測基準

ゴミ袋の数量(目安)	かさ容量(目安)	備考
8 袋以上	160L以上	ドラム缶1個程度以上
1以上~8袋未満	20L 以上~160L 未満	ポリタンク1個~8個程度
1 袋未満	20L 未満	航空写真で識別できるゴミは
		ほとんど見あたらない状態